

主催 | 横浜能楽堂 (公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

企画制作 | 横浜能楽堂 (公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)、国光劇団 (台湾国立伝統芸術センター)

協力 | 中華民国文化部、台北駐日経済文化代表處、台湾文化センター、台北駐日経済文化代表處横浜分處

世界華人工商婦女企管協会日本分会、横浜華僑總會、横浜臺灣同郷會

横浜能楽堂 Yokohama Noh Theater

國光劇團 GUO GUANG OPERA COMPANY

國立傳統藝術中心 National Center for Traditional Arts

文化部 MINISTRY OF CULTURE

beyond 2020

横浜華僑總會

横浜能楽堂特別企画公演

日台の名作と新作

昇 化 開 く 伝 承 糸 路

平成30年

6月9日(土) 14時開演(13時開場)

6月17日(日) 16時開演(15時開場)

場所 | 横浜能楽堂 本舞台

演目 | 6月9日(土)

崑劇「牡丹亭」より「驚夢」 温宇航、劉珈后

日本舞踊 長唄「藤娘」 水木佑歌

日台共同制作作品 (新作)「繡襦夢」 温宇航、劉珈后、常磐津文字兵衛 他

6月17日(日)

崑劇「繡襦記」より「打子」 唐文華、温宇航、華智暘

日本舞踊 長唄「汐汲」 藤間恵都子

日台共同制作作品 (新作)「繡襦夢」 温宇航、劉珈后、常磐津文字兵衛 他

チケット料金 | 全席指定

S席6,000円 / A席5,000円 / B席4,000円

チケット発売 | 平成30年3月17日(土) 12:00~

お申込み・お問合せ | 横浜能楽堂

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘 27-2

電話: 045-263-3055 (9:00~20:00)

WEB: <http://www.ynt.yaf.or.jp>

花開く伝統 日台の名作と新作

横浜能楽堂と台湾の国光劇団が共同制作に挑んだ「繡襦夢」。各分野を代表する芸術家が、日本と台湾を行き来し、ぶつかり合いながらも相互理解を深め作り上げた作品が、遂に完成。崑劇の古典作品「繡襦記」を下地に、夢幻能の形式を取り入れ、日本の三味線音楽を融合させた。

国光劇団に所属しながら国際的に活躍する崑劇のトップスター・温宇航が主演。音楽は、常磐津の三味線奏者・常磐津文字兵衛が音楽監督・作曲・演奏を務めるのに加え、長唄の今藤美治郎・杵屋秀子・今藤政貴らが日本から参加。国光劇団の演奏家と共演する。演出は、台湾のコンテンポラリーシーンを牽引する王嘉明が務める。

その他に公演では、崑劇の名曲「牡丹亭」「繡襦記」の一場面と併せ、日本舞踊の名曲「藤娘」「汐汲」を上演する。

新作「繡襦夢」は、6月に横浜での世界初演の後、豊田・新潟を巡回し、9月には台湾の台北・台中でも上演される。

公演日

6月9日(土) 14時開演 (13時開場)

【崑劇】

「牡丹亭」より『驚夢』

出演：温宇航 劉珈后

崑笛：林杰儒 司鼓：孫連翹 笙：蕭名君
中胡(兼大鑼)：許鈞炫 三弦(兼小鑼)：陳珮茜

中阮：潘品渝

【日本舞踊】

長唄「藤娘」

立方：水木佑歌

唄：今藤政貴 杵屋巳之助

三味線：今藤美治郎 杵屋勝十朗

囃子：藤舎呂英 藤舎呂裕 住田福十郎 望月左太晃郎

笛：福原百貴

【日台共同制作作品】

「繡襦夢」[新作]

出演：温宇航 劉珈后

人形遣い：石佩玉 王詩淳

三味線：常磐津文字兵衛(中棹三味線) 今藤美治郎(細棹三味線)

唄：杵屋秀子 今藤政貴

崑笛：林杰儒 司鼓：孫連翹 笙：蕭名君

中胡(兼大鑼)：許鈞炫 三弦(兼小鑼)：陳珮茜 中阮：潘品渝

芸術監督：中村雅之(横浜能楽堂)、王安祈(国光劇団)

演劇顧問：林子竝

演出：王嘉明

脚本：王安祈、林家正

音楽監督・作曲：常磐津文字兵衛

音楽コーディネート：柯智豪 崑劇編曲：孫建安

崑劇振付指導：馬宝山 舞踊指導：藤間恵都子 人形指導：石佩玉

衣装デザイナー：矢内原充志 ヘアメイクデザイン：中村兼也 ヘアメイク：張美芳

プロデューサー：中村雅之(横浜能楽堂)、張育華(国光劇団)

第一部

第二部

6月17日(日) 16時開演 (15時開場)

【崑劇】

「繡襦記」より『打子』

出演：唐文華 温宇航 華智陽

崑笛：林杰儒 司鼓：孫連翹 笙：蕭名君
中胡(兼大鑼)：許鈞炫 三弦(兼小鑼)：陳珮茜

中阮：潘品渝

【日本舞踊】

長唄「汐汲」

立方：藤間恵都子

唄：今藤政貴 杵屋正則

三味線：今藤美治郎 杵屋勝十朗

囃子：藤舎呂英 藤舎呂裕 住田福十郎 望月左太晃郎

笛：福原百貴

演目解説

崑劇「牡丹亭」より『驚夢』

名家の令嬢・杜麗娘が、夢で出会った柳夢梅に恋心を募らせついには命を落としてしまうが、幾多の曲折を経て生き返り、晴れて二人は結ばれる。今回は、麗娘が春の花園でのうたた寝の夢で夢梅と出会う場面の「驚夢」を抜粋上演する。

崑劇「繡襦記」より『打子』

唐代の青年の鄭元和が妓女(遊女)の李亜仙と知り合い慕い合った後、一度は落ちぶれて乞食にまでなるが、再び出会った亜仙に助けられ出世を果たす。今回は、元和の情けない姿を見た父親が、親不孝者だと怒り棒で殴る場面の「打子」を抜粋上演する。

日本舞踊「藤娘」

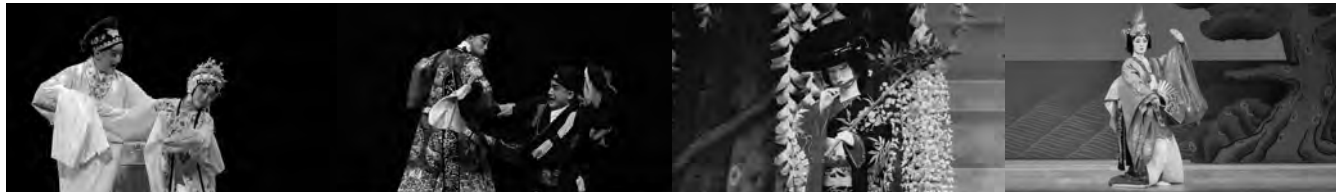
藤の花の精が人間の男に恋をして「大津絵」から抜け出して踊る。黒の塗り笠をかぶり大きな藤の枝をかついだ娘姿が可憐で華やかな、日本舞踊の代表曲。近江八景を詠んだ歌詞、「藤音頭」の手踊り、終盤の盛り上がりなど見どころの多い構成で、変化に富んだ一曲。

日本舞踊「汐汲」

須磨に流された貴公子・歌人の在原行平と馴れ初めた海女の姉妹のうち姉の松風が、行平が京へ去ってしまったことを名残惜しんで、形見の烏帽子狩衣をつけて踊るという内容のもの。花道での汐を汲む振り、三蓋傘(傘を三つ重ねたもの)を用いた踊り地など、見どころの多い一曲。

日台共同制作作品「繡襦夢」

崑劇「繡襦記」を下地に、夢幻能の形式を取り入れ、日本の三味線音楽を融合した新作。古典「繡襦記」では、鄭元和と李亜仙は結ばれて大団円となるが、新作「繡襦夢」では二人の仲は許されず、元和が出世したのち、亜仙は姿を消す。元和は彼女への未練を断ち切れないまま、死後もなお形見の繡襦(羽織物)と、生前の記憶の世界をさまよい、彼女を待ち続ける。



崑劇「牡丹亭」 Photo by Ge Chang-Hui

崑劇「繡襦記」 Photo by Lin Rung-Lu, courtesy of the GuoGuang Opera Company

日本舞踊「藤娘」 撮影：国立劇場

日本舞踊「汐汲」

温宇航(ウェン・ユーハン)／崑劇

北方崑曲劇院(北京)卒業。1999年、ニューヨークのリンカーン・センターで、全55幕、上演時間が20時間に及ぶ大作「牡丹亭」を、崑劇史上初めて全幕通して上演。2003年までに世界8か国でツアー公演を行う。2010年、国光劇団に正式に移籍し、現在は台湾在住。2012年、京劇姜派を受け継ぐ舞台芸術家の林慧栄へ弟子入りし、京劇の技芸に更なる磨きをかける。

唐文華(タン・ウェンファ)／崑劇

元は台湾京劇界を代表するトップスター。崑劇にも出演し、京劇・崑劇の二つの顔をもつ。幅広いレパートリーを持ち、丸みのある高音域の声の表現と繊細かつ表情豊かな演技、伝統を重んじながらも変化を求める姿勢で広く称賛を受ける。中国文芸奨賞、世界の中華文化芸術新伝賞、台北市第15回文化賞など受賞多数。

藤間恵都子(ふじまえつこ)／日本舞踊

横浜市生まれ。横浜市在住。日本舞踊協会新春舞踊大会1位・文部大臣奨励賞、松尾芸能賞、文化庁芸術祭優秀賞他受賞多数。多彩な表現力をもつ実力派で古典、新作多数出演。振付作品、他ジャンルや海外のダンサーとのコラボレーション作品も多数。大学で後進の指導にもあたる。

水木佑歌(みずきゆか)／日本舞踊

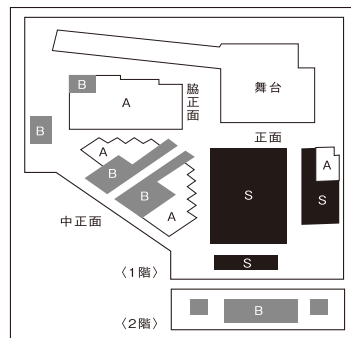
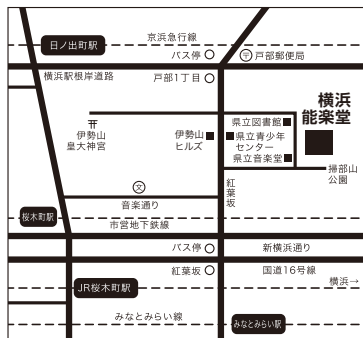
横浜市在住。1984年、日本舞踊協会新春舞踊大会特別賞・文部大臣奨励賞・大会賞。2015年、第46回舞踊批評家協会賞。日本舞踊古典作品を基盤に、創作舞踊・洋舞・テレビ・演劇・CM・モデル・海外公演(22カ国30都市)・振付等々多方面に出演活動中。

五世 常磐津文字兵衛(ときわづもじべえ)／音楽監督・作曲・三味線

1996年、五世常磐津文字兵衛を襲名。2004年、国立劇場特別賞。2008年、文化庁文化交流使。2010年、第66回日本藝術院賞。2012年、重要無形文化財「常磐津節」総合認定保持者。2014年、紫綬褒章受章。作曲家としても西洋楽器を含む器楽曲、声楽曲、日本古典形式作品など多様な作品を創作している。

王嘉明(ワン・ジャミン)／演出

劇団「シェイクスピアズ・ワイルドシスターズ・グループ(莎士比亞的妹妹們的劇團)」を主宰。2009年、劇団の作品が台湾における展覧会・舞台公演で優れた表現に贈られる「台新芸術賞」パフォーミングアーツ部門大賞を受賞。独創的なスタイルで、実験的でありながら、多くの観客に受け入れられる作風を特徴とする。これまでに、北京、南京、香港、東京など東アジア各地で作品が上演されている。



横浜能楽堂 〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘 27-2 電話：045-263-3055

【電車】JR 根岸線「桜木町」駅下車北改札より徒歩 15 分
市営地下鉄「桜木町」駅南 1 出口徒歩 15 分
みなとみらい線「みなとみらい」駅下車徒歩 20 分
京浜急行「日ノ出町」駅下車徒歩 18 分 *タクシー利用は各駅とも約 5 分
【バス】戸部 1 丁目(市営バス 103、292 系統)下車徒歩 5 分
紅葉坂(市営バス 8、26、58、101、105、106 系統・神奈中バス横 43、横 44、
港 61 系統・江ノ電バス大船駅行、栗木行・京急バス 110 系統)下車徒歩 10 分

*内容、出演者が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
*客席への飲食物の持ち込みはご遠慮ください。
*駐車場はございませんのでご来場の際には電車・バスをご利用ください。
*お買い求めいただいたチケットは公演中止の場合を除き、変更払い戻しはいたしません。
*公演中止の場合に、旅費等の補償はできません。チケット券面額以外は一切ご返金できません。